

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成28年度 病害虫発生予察情報について（送付）

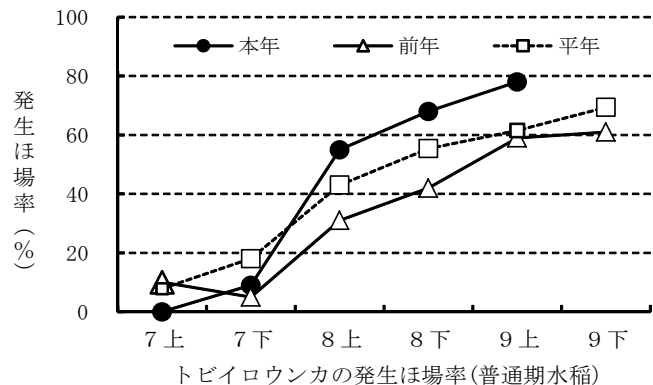
このことについて、発生予察注意報第2号（普通期水稻のトビイロウンカ）を發表します。

## 病害虫発生予察 注意報第2号

- 1 農作物名 普通期水稻
- 2 病害虫名 トビイロウンカ
- 3 発生地域 普通期水稻栽培地帯
- 4 発生量 多

### 5 注意報の根拠

(1) トビイロウンカについてはこれまで8月28日から9月上旬の防除を呼びかけてきたが、9月2～6日に行った巡回調査(調査ほ場数62ほ場)での発生ほ場率が78%(平年62%)と、8月下旬(68%)より10%高まるとともに(右のグラフ及び参考資料の表1)、防除が必要な中発生以上のほ場が10%認められた。



(2) 鹿児島地方気象台が9月8日に発表した向こう1か月の気象予報によると、九州南部の気温は平年より高い確率が40%と予想されており、トビイロウンカの増殖に好適な条件が見込まれることから、今後、坪枯れの発生が懸念される。

### 6 防除の考え方

(1) トビイロウンカの発生はほ場間差が大きいとともに、ほ場内の分布にもムラがあるので、ほ場全体の発生状況を確認し、発生を認めたら直ちに防除する。

なお、既に下葉の枯れ上がりが認められるほ場は、多発している恐れがある。

(2) 中～晩生品種では収穫までまだ期間があり、さらに次世代虫の増殖が懸念されることから、10月上旬に再度防除の必要な場合が考えられる(参考資料の発生経過予測図を参照)。

### 7 防除上注意すべき事項

(1) 本種は稲の株元に生息するので、粉剤や液剤で防除する場合は、薬剤が株元に十分届くように行う。

(2) ほ場では各虫態が混在しているので、防除を行ったあとも、その後の発生に十分注意する。

(3) 薬剤散布にあたっては、農薬の使用基準を遵守し、薬剤の飛散に十分注意する。

(参考資料)

有効積算温度利用によるトビイロウンカの発生経過予測図 (鹿児島地方気象台：加世田のデータを使用)

鹿児島県病害虫防除所 2016年9月7日 作成

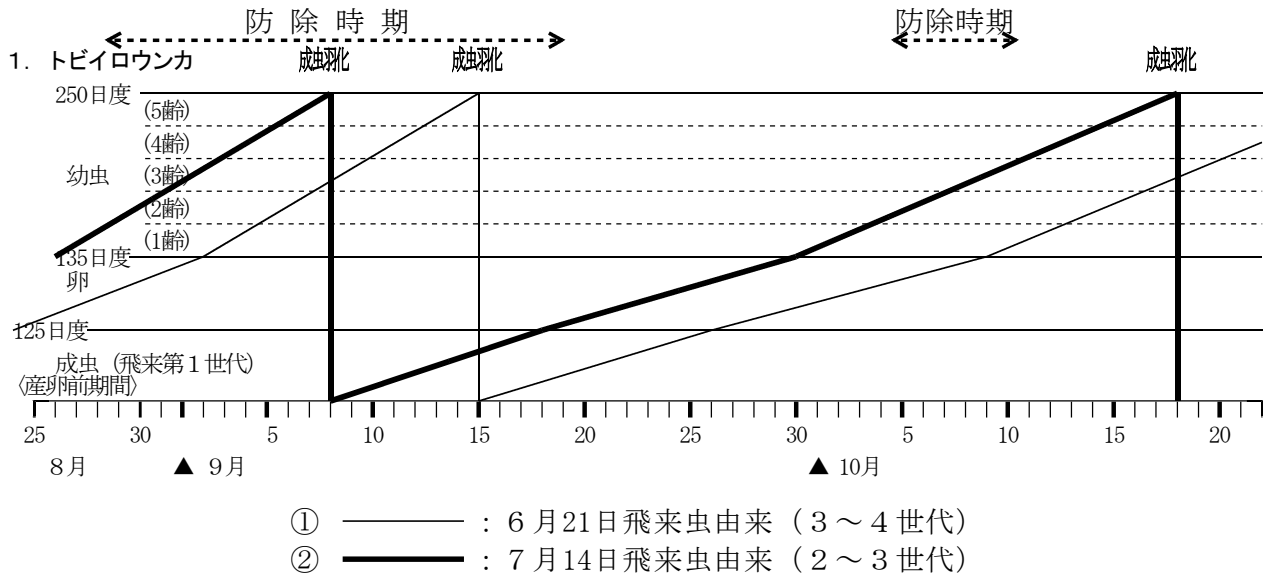


表1 巡回調査におけるトビイロウンカの発生状況 (調査日：9月 2 ~ 6日)

| 地域名  | 調査ほ場数 | 発生ほ場率 (%) |    |
|------|-------|-----------|----|
|      |       | 本年        | 平年 |
| 南 薩  | 10    | 90        | 68 |
| 北薩平坦 | 24    | 88        | 65 |
| 北薩山間 | 22    | 55        | 57 |
| 大 隅  | 6     | 83        | 58 |
| 県 計  | 62    | 78        | 62 |

※ 平年は2006年~2015年までの平均値。

※ 巡回調査地点

南 薩：南九州市知覧町永里・川辺町古殿・川辺町勝目  
日置市伊集院町大田，いちき串木野市大里

北薩平坦：鹿児島市東佐多町，始良市三拾町・蒲生町楠田  
霧島市隼人町住吉・国分上小川，薩摩川内市宮崎町・高江町  
出水市野田町屋地・高尾野町東干拓，出水市六月田  
薩摩川内市入来町浦之名，阿久根市鶴川内

北薩山間：さつま町宮之城平川・宮之城時吉・鶴田大角・中津川，薩摩川内市祁答院町上手  
伊佐市菱刈前目・田中，伊佐市大口金波田・木崎・山野，湧水町北方

大 隅：曾於市末吉町高松・大隅町笠木，鹿屋市野里